

# 製造請負優良適正事業者認定制度 (GJ認定制度)

## 好事例集

[ 2026年度版 ]



## 製造請負事業改善推進協議会

(事務局:一般社団法人 日本BPO協会)

### CONTENTS

- 1 成長を愉(たの)しもう。 安全第一を軸に高いレベルで品質・コスト・納期を意識  
株式会社プロテクス
- 3 ひとが、活きる未来へ。 適正な事業運営で安心・安全なサービス提供体制を確立  
株式会社フジワーク
- 5 地元密着型の信頼と実績 製造業を支える「ものづくりのまち」で選ばれる事業者  
株式会社カインズサービス
- 好事例集について — これから認定を取得する事業者の参考となるよう、認定事業者の取組内容や工夫点、今後の課題などの紹介を行うとともに、認定取得による社内の変化や営業上のメリット、発注者からのポジティブな反応があった事例など認定取得による副次的効果を周知することで、認定制度の普及・啓発を推進する。

### 2026年度 製造請負優良適正事業者 認定事業者一覧(50音順)

2026年4月1日現在

|                  |                    |                  |
|------------------|--------------------|------------------|
| 株式会社アクティ         | 株式会社サンキョウテクノスタッフ   | 株式会社日本ケイテム       |
| アルムメディカルサポート株式会社 | 株式会社三幸コーポレーション     | 株式会社早川工業         |
| 株式会社イー・オー・シー     | ジェイティプラントサービス株式会社  | 株式会社ヒューマンアイ      |
| 株式会社イカイインダストリー   | 株式会社シグマテック         | 株式会社平山           |
| 株式会社イカイコントラクト    | 株式会社ジャパンクリエイト      | フジアルテ株式会社        |
| 株式会社イカイプロダクト     | 株式会社セントラルサービス      | 株式会社フジワーク        |
| 株式会社ウィルオブ・ワーク    | 株式会社総合プラント         | 株式会社BREXA Avance |
| 株式会社ウィルテック       | 株式会社ティーエム・テックス     | 株式会社BREXA Next   |
| 株式会社エイジェック       | 株式会社テクノクリエイティブ     | 株式会社プロテクス        |
| 株式会社イー・オー・シー     | テクノセンター株式会社        | マルアイユニティー株式会社    |
| 株式会社カインズサービス     | 東洋ワーク株式会社          | ミライク株式会社         |
| 川相商事株式会社         | 株式会社トーコー           | 株式会社ワイズ          |
| 株式会社グロップジョイ      | 株式会社トータルマネジメントビジネス | 株式会社ワークスタッフ      |
| サンヴァーテックス株式会社    | 日総工産株式会社           | 株式会社ワールドインテック    |

※認定の有効期間は3年間。更新審査あり。



過去の好事例は、パソコン・スマホから「GJ認定制度 好事例集」で検索！

GJ認定制度 好事例集

検索



### 制度の趣旨

製造請負優良適正事業者認定制度(GJ認定制度)は、適正な請負体制の推進、雇用管理の改善を実現するための管理体制・実施能力が認められた請負事業者を「優良適正事業者」として認定するもので、厚生労働省により創設された制度です。「製造請負事業の適正化と雇用管理改善の推進」と「製造請負業界の市場競争の健全化」の実現により、労働者の福祉の向上と発注者の製造業務の長期的な質的改善につなげることを目的としています。

### 審査基準

| 経営方針                                                                                                               | ものづくり力                                                                                                                                    | ひとづくり力                                                                                                     | 労働者保護                                                                                                                                                                              |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>方針等の明示</li> <li>方針等の周知</li> <li>「非常時」の危機管理</li> <li>派遣と請負の区分基準関連</li> </ol> | <ol style="list-style-type: none"> <li>活動組織</li> <li>ものづくり力の具現化</li> <li>事前確認・必要資格</li> <li>「事業所責任者」の配置</li> <li>「工程管理等責任者」の配置</li> </ol> | <ol style="list-style-type: none"> <li>「キャリアパス」の明示とキャリアコンサルティング</li> <li>「職業能力開発」</li> <li>能力評価</li> </ol> | <ol style="list-style-type: none"> <li>労働保険・社会保険の適用</li> <li>雇用関係の確保</li> <li>個人情報の保護体制</li> <li>労働安全衛生の取り組み</li> <li>ワークライフバランスへの配慮</li> <li>相談・苦情処理の体制</li> <li>法令の周知</li> </ol> |

### 製造請負

### なんでも相談室

オープン!!



請負・派遣事業者、メーカー、スタッフの方、  
どなたでもお気軽にご相談ください。

直通電話



03-6809-1054

受付  
時間

9:00~17:45

※土・日・国民の祝日を除く

FAX

03-6721-5362



kyogikai@yuryoukeoi.info

受託者事務局 一般社団法人 日本BPO協会



〒105-0004  
東京都港区新橋4-5-1  
アーバン新橋ビル9F



03-6721-5361  
FAX 03-6721-5362

専用公式  
サイト

<https://yuryoukeoi.info/>



成長を愉(たの)しもう。

## 安全第一を軸に 高いレベルで 品質・コスト・納期を意識

社 名

▶ 株式会社プロテクス

本 社 ▶ 東 京 都

主な請負事業

▶ ペットフード・ケア製品

初 回 認 定 年 度  
2 0 2 3 年

認 定 回 数  
1 回



### 自社工場設立を機に、「GJ認定」取得で高品質な請負事業を担保 発注企業と働く人の双方から選ばれる請負会社の誇りを醸成

『日本の製造業復活に貢献する』というプロテクスの理念と、親会社であるCRGホールディングスが掲げる『成長を愉(たの)しむ』という観点を軸に、製造業での成長戦略を常に模索しています。プロテクスは千葉県、埼玉県、栃木県などに拠点を有し、発注先企業のブランド名で販売される製品を受託して自社工場で製造する形態(OEM)をとっています。

当初、製造請負から事業をいかに広げていこうか考えていた際、ペットフード・ケア製品を手掛ける大手クライアントから製造ラインを広げたいという要望があり、工場内で保管している製造途中の半製品や原料を工場から切り出して倉庫運営をはじめました。クライアントと信頼関係を構築するなかで、当時のOEM方式に課題があるとの相談を受け、その解決策の一環としてプロテクスは自社工場の設立に踏み切りました。このターニングポイントにおいて、いかに高品質な請負事業を運営しているかを担保するため、他社との差別化ができる外部評価の「GJ認定」取得を目指しました。

請負事業にコスト意識は重要ですが、単なるコストカッターに陥らないことが大切です。近年の物価上昇を踏まえると従業員の賃上げは必然であり、その両立のためにも生産性の向上や多能工の育成に日ごろから注力しています。「GJ認定」事業者であることを誇りに、発注企業と働く人の双方から選ばれる請負会社との認識を高めています。

### QCDSを製品や生産活動の評価を行うKPIとして「見える化」 人材育成、機械整備、作業定義、材料管理の徹底が品質と信頼のカギ

プロテクスでは、Quality(品質)Cost(価格)Delivery(納期)Safety(安全)のQCDSを製品や生産活動の評価を行うKPIとして「見える化」し、不具合があれば早急に検知し、即座に予防するための日常管理を実践しています。品質保持のカギは人・機械・方法・材料の4つで、高精度の作業ができる人材の育成、品質規格を満たす製造能力を高める機械整備、作業手順のマニュアル化による正しい作業定義の方法、検査合格率高めるための材料調達手段・調達量・検査の管理を徹底しています。

コストにおいては、労働生産性、設備生産性、在庫回転率などのKPIをチェックして、適正なコストを明確化し、無駄なコスト削減を進めています。信頼の要となる納期は、生産から出荷までの生産計画を立て、設備の停止や不良品の発生による遅滞が起きないように製造環境の維持・管理に努めています。製造事業が最も注意を払わなければならない安全においては、入社時と定期的な安全教育に加え、監督責任者による工場内の安全衛生パトロールと定例会議の開催で未然防止を図っています。

こうした4方向の「見える化」がプロテクスの平素からの基本線であり、信頼の基盤です。この仕組みを維持して高めていく要素として、「GJ認定」の審査項目や視点を現場運営に活かしています。

## 01 人材育成は「効率的で持続可能な成果」を達成するために重要 プログラムを実践して次世代に向けたノウハウと組織文化を継承

人材育成では「安正早業」という視点を大切にしています。効率的で持続可能な成果を達成するための重要な要素であり、「安全性が保たれ、正確さを求め、作業効率を良くして、仕事も楽(ラク)になる」を実践。人に無駄なことをさせずに、プロセスの最適化や作業効率の向上を意識しています。

具体的には、多能工化を推進するため、技術トレーニングとスキル向上として定期的なトレーニングプログラムを導入したり、品質管理と品質確保に向けてトレーニングやプロセス改善の仕組みを確立しています。複数のチームが協力して作業することが多い環境であることを考慮し、チームビルディングに関する学習やコミュニケーションスキルの向上も促進。併せて、将来のリーダー候補の育成に注力し、組織全体の効果的な運営と次世代に向けたノウハウと組織文化の継承を実践しています。これらの人材育成も「見える化」して、スキルアップに向けてどのような知識や経験を身につける必要があるか、その道筋を支援する制度を整えています。



## 02 コンプライアンス重視、社員の労働環境の維持・向上は事業運営の支柱 社会や発注先から得られる信頼と、社員が働きがいを実感できる土台

請負事業者が留意すべきコンプライアンスとして、労働関係法令があります。人が財産であるプロテクスにとって、社員の労働環境の維持・向上は事業運営の支柱です。労働基準法や労働者派遣法、労働安全衛生法などの最新動向について、アンテナを高く張り、情報を把握し、幹部と共有して現場に伝達してアップデートしています。



このほか、重視するコンプライアンスとして、情報管理の徹底や外国人材に関する出入国管理法の適正運用、公正な取引、人権を尊重し、安全で快適な職場環境づくり、社会保険料を含む納税の義務——などを内外に宣言して遵守しています。

このコンプライアンス重視の姿勢が、社員の能力や成長を最大限発揮できるベースとなっており、社会や発注先から得られる信頼と、社員が働きがいを実感できる環境づくりにつながっています。

## 03 「製造技術を支える」という志を含め、現場づくりに邁進 世界的メーカーの高い品質レベルに応え続け、実績と成果を拡大

プロテクスの社名はプロダクツ・テクノロジー・サポートを略したもので、「製造技術を支える」という志を含めています。人を大切に、製造請負から商品出荷(物流)までを一括してカバーできる体制を構築しています。「工場内製造」では、製造設備の操作(オペレーター)、原料や包装資材の供給作業、ライン作業、完成した商品の包装・梱包作業に加え、高度な品質検査なども完備。この先の工程となる「工場内物流」では、倉庫から運ばれてきた原料や包装資材の入荷・格納、完成品の搬送と仮保管を経て、出荷先別のトラックへの積み込みも展開しています。

この流れを持続するため、「人間尊重」を基本に「良い仕事が楽に確実に素早く出来る」現場づくりに努めており、その実現に向けてトヨタ生産方式に準じた改善活動を専門講習も交えて実施しています。世界的メーカーの高い品質レベルに応え続けることで、made in Japanとしてのクオリティを保ち、実績と成果を広げて請負事業の世界進出を目指しています。



### Message

株式会社プロテクス 代表取締役 三並 史典

人を大切に製造業に対する社会的価値観に変化をもたらし、日本の製造業復活に貢献することを企業理念としています。クライアント目線と従業員目線であり続けることで、双方から賞賛され、積極的に選ばれる会社になります。「現状に満足せず常に変化に挑戦する」をモットーに、変化を恐れて立ち止まることなく、常にアンテナを張って変化し続けることが「最大のリスクヘッジ」であり、製造請負事業に不可欠だと考えています。



所 在 地 ▶ 東京都新宿区西新宿2-1-1  
新宿三井ビル37階

T E L ▶ 03-6302-0810

U R L ▶ <https://crprotex.co.jp/>

きじつ ひとが、生きる未来へ。

## 適正な事業運営で 安心・安全な サービス提供体制を確立

社 名

▶ 株式会社フジワーク

本 社 ▶ 大 阪 府

主な請負事業

▶ 半導体・電子部品等

初回認定年度  
2013年

認定回数  
5回



### 企業から信頼されるビジネスパートナーとして発展 「GJ認定」は事業基盤強化と持続的成長につなげる

1971年の創業以来、フジワークグループはContract Manufacturing Service(CMS)業界の発展と共に、国内外の製造業務、エンジニアリング業務、技術開発に関する製造業務受託と職業能力開発・キャリア開発、そしてインフォメーションテクノロジーによる情報産業の領域で、数多くの企業から信頼されるビジネスパートナーとして発展してきました。

グローバル大企業をはじめ、幅広い製造分野のクライアントに対して、コンプライアンスの徹底、安全・品質管理体制の強化、人材育成の推進を通じて、フジワークの適正な事業運営と社会的信頼の向上を示し、安心・安全なサービス提供体制を確立してきた結果です。展開する事業は、経済、社会に対する影響の大きい事業ゆえに、信頼が大切であり、新卒採用、正社員雇用に対する社会的責任も伴います。

そのような考えをもとに2013年度に「GJ認定」を取得し、以降4回の更新を重ね、現在に至るまで継続して認定を維持しています。「GJ認定」は、取引先企業や当社の求職者、社会に対して、安心・安全で適正な事業運営を行う企業であることを示す重要な指標であり、事業基盤強化と持続的成長につながるものと位置づけています。

### 受託製造事業におけるパーパスを社内外に公表 PDCAサイクルによる継続的な業務品質向上を推進

「GJ認定」という第三者によるガバナンス体制の評価に加え、審査項目をマニファクチュアリング・サービス事業における品質向上と継続的改善を推進するための重要な基盤として活用しています。受託製造事業におけるパーパスを「フジワークマニファクチュアリングサービス」として定義し、社内外に公表しています。毎年策定する「フジワークグループ年頭方針」では、パーパスの実現に向けたアクション項目を精緻に明確化し、全国に展開する各事業拠点が事業場業務計画にアクション項目を展開することで、PDCAサイクルによる継続的な業務品質向上を推進しています。

ものづくり現場の持続的成長を支える管理職のマネジメント力向上を目的とした「MSマネジメントプログラム」に加え、ISO9001、ISO14001、ISO27001を取得し、品質・環境・情報セキュリティの各分野でも継続的なグローバル基準のマネジメント管理体制を推進しています。

GJ認定の審査基準を満たすことは、フジワークの持続的成長を図るための日常的な取り組みのひとつです。社内にはGJマーク推進委員会を設置し、審査基準に基づく整備状況の評価、改善への取り組みをサポートしており、10年以上継続するなかで十分に全国の各拠点に浸透。最も効果的・効率的なやり方を競い合っています。

## 01 全国の現場で継続的に「フジワーク現場改善活動コンテスト」を開催 ものづくりの現場に組織として携わる社員全員の自己成長の機会を創出

フジワークは、QC活動を社員の成長の機会と捉えて積極的に推進しており、全国で継続的に「フジワーク現場改善活動コンテスト」を開催しています。現場の第一線で活躍するフジワーク社員が主体となり、日々の業務の中で培った知識や経験を活かしながら、品質・安全・生産性向上に向けた実践事例を共有する取り組みです。製造請負事業場において自律的な小集団活動を絶え間なく継続できる環境を、フジワークグループとして応援し、社員の挑戦や成長を発表し、学びあい、知識や経験を組織に蓄積する場となっています。

2010年の第1回開催以来、2026年の第17回までに累計1325サークルが活動の成果をプレゼンテーションしており、ものづくり力の継続改善、製造現場の活性化による組織強化と取引先企業への貢献に取り組むとともに、ものづくりの現場に組織として携わる社員全員の自己成長の機会を継続的に創出しています。



## 02 新入社員全員が参加する海外研修、グローバルリーダーの育成も積極的 「人材開発計画書」などを活用し、実績やキャリア形成を記録・整理



誠実さを大切にする価値観を育て、常に新しい技術と知識の習得に挑戦しています。「フジワークの事業領域の最先端で活躍する社員一人ひとり」が最も重要なフジワークの企業価値の源泉であると考え、組織として長期的に顧客企業と課題解決に取り組んでいます。この観点から人材育成に投資し、資格取得促進支援制度では社員の専門性向上と自律的なキャリア形成を支援。過去3年間では2000名を超える社員が制度を利用し資格に合格しています。

加えて、半導体分野の専門教育を行う「セミコンダクタトレーニングセンター(STC)」を運営し、世界中の先端半導体ファブ(fab)で活躍できる技術者育成に取り組むほか、新入社員全員が参加する海外研修にて、異文化を尊重し世界で活躍できるフジワークグローバルリーダーの育成にも積極的に力を入れています。そして、「人材開発計画書」や「人事データフォーマット」を活用することで、資格取得や教育訓練、職務を通じて達成した実績やキャリア形成について計画・振り返り・記録を定期的に整理することができています。

## 03 「安全衛生活動計画」を策定し、安全衛生活動を計画的・組織的に推進 「MSレポート」として毎月とりまとめ、取引先企業と共有し改善提案

安全で働きやすい職場環境の構築に向けて、「フジワークグループ年頭方針」に基づき「安全衛生活動計画」を策定し、安全衛生活動を計画的かつ組織的に推進しています。毎月の安全定例会や管理者による安全巡視に加え、過去の労働災害やインシデント事例の振り返り、安全衛生教育の実施、指差呼称・保護具着用・安全ルール遵守など安全行動の定着について共有することで、全てのフジワーク社員の安全意識の向上と安全文化の醸成を図っています。

これらの安全衛生活動は「MSレポート」として毎月とりまとめ、取引先企業と共有するとともに、改善提案を実施し、PDCAのサイクルを通じて継続的な職場環境の改善と労働災害の未然防止につなげています。また、消防設備の点検や消防訓練の実施をはじめとした防火管理活動や、緊急時安否確認訓練や地震・水害・感染症を想定したBCP訓練を定期的実施し、その結果を検証することで、社員の安全確保と事業継続体制の強化に取り組んでいます。



## Message

株式会社フジワーク 代表取締役社長 伊藤 貴男

日々成長。私たちフジワーク社員は常に新たな技術・知識・経験の習得に挑戦し、長期的な時間軸で仕事に対峙しています。課題解決に取り組むことができる社員こそが、フジワークの企業価値の源泉であるとの考えのもと、多様な人材育成プログラムを通じて、社員一人ひとりの主体的なキャリア形成を支援しています。社員の成長を促し、学びあう組織文化を醸成し、顧客や社会からの信頼を深めることが私たちフジワークが果たすことを期待されている社会的役割であると考えております。

「働く」のプロがいる。

**フジワーク**

人とともに、50年。

所在地 ▶ 大阪府高槻市高槻町11-2  
フジワークビル

T E L ▶ 072-682-8854

U R L ▶ <https://www.fujiwork.co.jp/>

きんぞう 地元密着型の信頼と実績

# 製造業を支える 「ものづくりのまち」で 選ばれる事業者

社 名

▶ 株式会社カインズサービス

本 社 ▶ 東 京 都

主な請負事業

▶ 電機・電子部品等

初 回 認 定 年 度  
2015年

認 定 回 数  
4 回



## 効果的な労働配分で製造現場の課題解決と改善を提案 信頼できる身近なパートナーとして存在価値を高める

発注企業の特性や業務効率を意識し、効果的な労働配分で製造現場の課題解決と改善に取り組んでいます。カインズサービスは東京都大田区蒲田に誕生し、製造業を支える日本屈指の「ものづくりのまち」で、地元の工場とともに成長。京浜・京葉工業地帯の製造業や物流業を主体に請負事業を展開しています。「発注者の信頼と満足を得るサービスの提供」を旗印に、10年先を見据えた地に足のついた歩みが特徴です。

その土台は、地元に着目した「face to face」を大切にしているところにあります。発注先の担当者とコミュニケーションを深め、日ごろから作業環境の改善と課題の抽出を心掛け、信頼できるパートナーとして存在価値を高めています。

「GJ認定」を取得して更新・継続していることは、法令関係のコンプライアンス意識のアップデートと向上はもちろんのこと、手順書や帳票類の整備が進み、業務の明確化と標準化の促進につながっているほか、請負社員や現場責任者が業務に対する姿勢や成果について、正しく評価する仕組みが確立できています。認定事業者の柱である「経営方針」「ものづくり力」「ひとづくり力」「労働者保護」の審査項目を平素から整えておくことが、キャリアアップによる待遇向上の仕組みや法令遵守をはじめとする高いレベルでの請負体制維持に結び付けています。

## 製造請負の「ものづくり力」は習熟度の高い人材の安定投入 「GJ認定」の審査項目を日ごろから活用して事業を推進

業務知識と経験を活かし、発注企業の要望を丁寧にヒアリングしながらニーズに合わせた最適解を提案しています。製造業における生産管理の代表的なフレームワークとして、「生産性(Productivity)、品質(Quality)、コスト(Cost)、納期(Delivery)、安全(Safety)、士気(Morale)、環境(Environment)」の頭文字を取ったPQCDSMEがありますが、製造請負事業者としての「ものづくり力」とは、習熟度の高い人材を安定的に投入することです。発注企業に、より高品質な納品を、より早く、より多く、よりロスなく実現する力だと考えています。

そうした人材を継続して投入するには、働きやすい労働環境の提供だけでなく、スキルアップにつながる教育面での支援と後押しが重要で、雇用の安定を確保することで経験を積んでもらい、日常生活の精神的なケアにも努めながら成長を促しています。病気やケガ無く健康で働ける、出勤率の高い状況を実現するポイントであり、「ものづくり力」と「人材育成」をセットに考えて仕組みを整えています。

これらの基本方針や考え方は、カインズサービスの「ものづくり理念」として掲げ、教育研修や社内イントラネット、掲示により周知・浸透を図っています。請負現場においては、ノウハウの伝承と蓄積、多種多様なオーダーに応えるフレキシブルな対応力が重要と認識し、「GJ認定」の審査項目を日ごろから活用して事業を推進しています。

## 01 品質目標に「労働災害・物損事故の撲滅(無災害)」を掲げる 発注先と綿密な打合せ、安全衛生を基軸に信頼関係を醸成

カインズサービスが軸とする「ものづくり理念」のなかで、「安全と安心を第一とする」「多くの人々が能力を発揮し成長の機会を得られる努力をする」と定め、品質目標においても「労働災害および物損事故の撲滅(無災害)」を掲げています。安全衛生推進委員会を設けて、これまでの経験で蓄積した独自の「安全衛生book」を作成。労働災害や事故に対する意識の向上を図る安全衛生教育を徹底しています。発注先との打合せを綿密に実施し、共同による点検とパトロールなどを定期的に展開することで事故の未然防止に努めています。

加えて、発注先との関係では「日報システム」を導入して、作業所の状況や発注先の要望が速やかに営業担当をはじめ管理責任者に届く体制を構築。プッシュ型で発注担当者にアンケートを実施し、安全衛生を基軸に信頼関係を醸成しています。



## 02 請負社員の構成とバランスを重視、きめ細かな技術伝達を展開 発注者との定期的「品質会議」と「生産調整会議」を活発化

現場では請負社員の構成とバランスを重視しています。定着率が良い弊社は、作業ユニットごとに勤続10年以上、5年以上、2年以上、そこに勤続年数の浅い社員をバランスよく配属することができます。特に、新規の受注に際しては事業所責任者や工程管理責任者が作業指導を受けた後、OJTトレーナーに認定された経験豊富な社員を通して、入職後間もない社員まできめ細かな技術伝達を展開しています。

また、発注者との定期的品質会議と生産調整会議などを活発化させることで、工数やリードタイムの目標を共有化し、社内の技術ミーティングで決定した事項についてPDCAサイクルを回しています。そこで得られた成功例や視点を改善提案につなげ、「頼れるビジネスパートナー」としての立ち位置を確立しています。そのためにも、社員に快適な職場環境を提供し、能力開発・生活向上・ステップアップを支援し、発注者と社員とカインズサービスが三方良しの関係を築いています。



## 03 「多能工マップ」を作成し「見える化」、作業の標準化と平準化に寄与 請負社員の実務経験を積み、幅広い作業への適応能力が身に付く

新人研修にあたるスタートプログラムで、基本作業をマスターしてもらいます。そのうえで、品質や工数、納期の全体目標を達成するために、個々の目標設定を行い、複数の工程を経験することで社員ごとに「多能工マップ」を作成。個々の適性とスキルを「見える化」して作業効率を高めています。

「多能工マップ」による「見える化」は、適材適所の配置、急な欠員対応、受注の増減対応、作業の標準化と平準化に直結する重要な要素です。実務経験を積み、幅広い作業への適応能力が身に付き、勤続2年ほどでOJTトレーナーに認定され、新人教育を担う側に回ります。リーダー職に必要な業務を明確にして、ひとつずつ達成することによって、工程管理代行(ラインリーダー代行)、工程管理責任者(ラインリーダー)、事業所責任者へとステップアップできる仕組みも整えています。

多能工マップ (2026年)

| 作業工程    | 担当者   | 担当期間                    | 担当回数 | 担当率  |
|---------|-------|-------------------------|------|------|
| 1. 部品検査 | 石井 大輔 | 2026.01.01 - 2026.03.31 | 10回  | 100% |
| 2. 組立作業 | 石井 大輔 | 2026.01.01 - 2026.03.31 | 10回  | 100% |
| 3. 点検作業 | 石井 大輔 | 2026.01.01 - 2026.03.31 | 10回  | 100% |
| 4. 包装作業 | 石井 大輔 | 2026.01.01 - 2026.03.31 | 10回  | 100% |
| 5. 出荷作業 | 石井 大輔 | 2026.01.01 - 2026.03.31 | 10回  | 100% |

## Message

株式会社カインズサービス 代表取締役 石井 大輔

激しく流動する社会情勢のなかで、労働市場が抱える課題に対する取り組み方が企業の未来に大きく影響します。人事戦略と労務管理における「多様化」にいかに対応していくか、企業が抱える命題のひとつです。企業活動のすべてに緻密さが求められる時代に、仕事の特性や役割に応じた柔軟な人材活用はスタンダードとなっています。併せて、ライフスタイルに合わせたフレキシブルな働き方を求める求職者の要望にも応えられるよう、人材ソリューションカンパニーとして邁進していきます。

## 株式会社カインズサービス

所在地 ▶ 東京都大田区蒲田5-8-7  
蒲田K-1ビル5階

T E L ▶ 03-3730-1431

U R L ▶ <https://www.kind-sservice.co.jp/>